

見学調査報告書

テーマ : ビール工場見学を卒論に繋げよう
ゼミ名 : 高見澤 秀幸 ゼミ
調査日 : 2024年5月10日(金)
調査先 : サントリー 〈天然水のビール工場〉東京・武蔵野
授業科目名 : 演習Ⅲ
参加学生数 : 9名(4年)

調査の趣旨(目的)

工場内を案内係の方に説明を受けながら見学し、ビール製造工程について学び、今まであまり注目しなかった娯楽的な要素にはどのようなデータ分析の要素があるかなどといった新たな観点からの知見を深めることで、卒業論文を作成するテーマ選びやデータ収集への糧にする。

調査結果

今回の工場見学は、五感で楽しみながら学べる充実した90分間であった。ホップや麦を味や匂いで感じ、検査過程はVRゴーグルを通して、原料の調達から完成品の箱詰めまでの一連の工程を確認した。また、ビールを作る上での水の重要性など今までサントリーが取り組んできた背景からどう考え現在に至ったのかをビデオや工場の設備を通して強く感じる事ができた。これまでも広告や宣伝、あるいは飲食店で様々なビール会社の商品に触れる機会はあったが、工場見学を通したからこそ他社との差別化やブランディングの細部までを学習することができた。データの制約等から嗜好品や娯楽を定量的に分析することは難しい面があるが、企業の理念や歴史的な背景からしっかりと分析することで、定性的な面からでも卒業論文の題材に十分なりうる事がわかった。

